

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ実施】

《担当者名》客員教授／永山 正人 予防医療科学センター／岡村 敏弘

【概 要】

歯科医学を医療機関において患者さんに提供する際の諸問題について、解決策を考え実行する為のPDCAサイクル的思考を学習する。特に、歯科医業経営を含む歯科医療管理に必要な基礎事項について理解する。

【学習目標】

☆ 歯科医療管理の基礎的事項の理解と、歯科医師国家試験出題基準に関係する歯科医療管理学の範囲の基礎事項について学ぶ。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	◎ 歯科医療管理学の理解 ◎ 歯科医業に関する問題と解決 ◎ 開業のプロセスとそれに関わるマネジメント	● 歯科医療管理学が歯科医療提供にどのように関わっているかを理解する。 ● 歯科医業を取り巻く環境の変化を理解し、問題の解決法について学ぶ。 ● 開業時の開設に関わるプロセスと必要な経営的要点を理解する。	永山 正人
2	◎ 歯科医業経営におけるパフォーマンス ◎ 経営管理	● 歯科医業経営における理念の重要性和成果を向上させる因子について理解する。 ● 医療のマネジメントの基礎事項の理解と院長としてやるべき経営管理の基本事項を理解する。	永山 正人
3	◎ 医療の質と患者満足度 ◎ チーム医療に必要なマンパワーの管理	● 医療の質の意義を理解し、医療の質の維持・管理を理解する。また、患者満足度の意義を理解し、リサーチの方法論を理解する。 ● チーム医療に対するマンパワー管理の重要性を知り、人事管理の基礎を理解する。	永山 正人
4	◎ 会計と税務の基礎知識	● 歯科医業における基本的な会計と税務をの仕方を考える。 ● 厳しい経営環境下における経営分析とそこから得られる情報による経営改善を理解する。	永山 正人
5	◎ 〈歯科医療と法（特に、医療保険制度に関して）〉 1. 歯科医師に関係する広義の法律 2. 我が国の医療保険制度 3. 保険医療機関と保険医 4. 国民医療費	● 歯科医師は、社会的にその業務が重要視されているため、直接的・間接的に膨大な数の法律の規制を受けるが、逆に数多くの法律によって、歯科医師としての身分や業務が守られている。しかし、法律はその存在を知らなかったという抗弁で罪を免れえるものではない。そこで、本講座では、歯科医師に関係する広義の法律の体系、我が国の医療保険制度の仕組みと体系、保険診療等の仕組み、保険医療機関と保険医、国民医療費について学ぶ。	岡村 敏弘
6	◎ 〈歯科医療と法〉 1. 歯科医師と患者との法律関係（医事民法・医事刑法） 2. 保険医療機関と保険者との法律関係（保険診療） 3. 医事紛争 4. 診療録	● 近年、医療過誤及び医療事故が増加の一途をたどっている。これらに係る医事紛争増加の背景には、歯科医師側の法律面での知識不足や診療録の重要性に対する認識の不足があることが指摘されている。そこで、本講座では、医事民法及び医事刑法の観点から歯科医師と患者との法律関係、保険診療における保険医療機関と保険者との法律関係について解説し、医事紛争の場合において、歯科医師の主張の重要な証拠となる診療録に関して、診療録の開示に係る点を含め、その法的意味等に関して深く学ぶ。	岡村 敏弘

【評価方法】

◇ ペーパーテストによる（100％）。

・レポート及び講義中の質問に対する回答等（レポートを含）を参考にする場合がある（参考にする場合は、テスト80%、レポート20%）。

【備 考】

教科書 ： 歯科診療所のマネジメント論（一世出版）

参考書 ： 歯科医療管理（医歯薬出版）
ハンディ社会歯科学（学建書院）
歯科医院コンサルティングマニュアル（一世出版）

その他 ： 「医療保険制度を中心とした法律関係と診療録について」講義時配付資料（岡村）

【学習の準備】

- ☆ 予習として：集中講義の項目について講義前に配付するので、該当する部分について教科書を読む。（20分）
 - ・歯科医院の開業時や将来に対し不安や疑問に思うことをメモしておき、第1講目に提出する。（20分）
- ☆ 復習として：疑問について自らも教科書・参考書を調べ重要事項についてメモしておく。（20分）
 - ・※質問について講義中に回答する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な知識を歯科医療管理学の観点から修得する（専門的実践能力）。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を医療管理学の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を歯科医療管理学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な知識を歯科医療管理学の観点から修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を歯科医療管理学の観点から修得する（社会的貢献）。

【実務経験】

永山 正人（歯科医師）、岡村 敏弘（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験を活かして、歯科医学を医療機関において患者さんに提供する際の諸問題について、解決策を考え実行する為のPDCAサイクル的思考を学習する内容となっている。